

**製品名: IL-3R $\beta$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12557**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	125kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CSF2RB
別名	CSF2RB; IL3RB; IL5RB; Cytokine receptor common subunit beta; CDw131; GM-CSF/IL-3/IL-5 receptor common beta subunit; CD antigen CD131
遺伝子 ID	1439.0
SwissProt ID	P32927
免疫原	抗血清はヒト IL-3R $\beta$ 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 559-608

**背景**

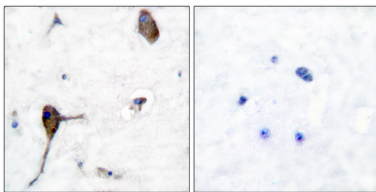
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、IL-3、IL-5、および CSF に対する高親和性受容体の共通  $\beta$  鎖である。この遺伝子の欠

陥は、タンパク質性肺胞タンパク症 (PAP) に関連することが報告されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患: CSF2RB の欠陥は、先天性肺胞タンパク症 (PAP) [MIM:265120]の原因である。PAP は、常染色体劣性の致死性呼吸器疾患である。、ドメイン: ボックス 1 モチーフは、JAK との相互作用および/または活性化に必要である。、ドメイン: WSXWS モチーフは、適切なタンパク質の折り畳み、ひいては効率的な細胞内輸送および細胞表面受容体結合に必要であると考えられる。、機能: インターロイキン-3、インターロイキン-5、および顆粒球マクロファージコロニー刺激因子に対する高親和性受容体。、類似性: I 型サイトカイン受容体ファミリーに属する。タイプ 4 サブファミリー。、類似性: 2 つのフィブロネクチンタイプ III ドメインを含む。、サブユニット:  $\alpha$  サブユニットと  $\beta$  サブユニットのヘテロ二量体。  $\beta$  サブユニットは IL3、IL5、GM-CSF 受容体に共通。、

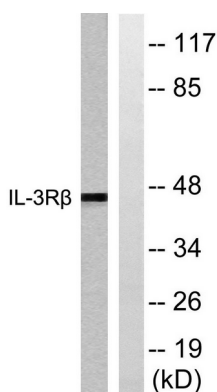
## 研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;アポトーシス阻害;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;Jak\_STAT;

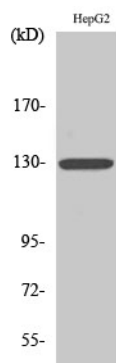
## 画像データ



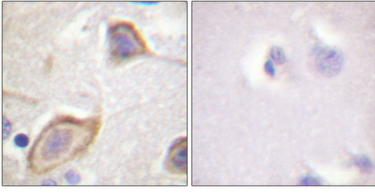
IL-3R $\beta$  抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



G-CSF 25 ng/ml 15 分処理した Raw264.7 細胞のライセートを IL-3R $\beta$  抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンには合成ペプチドでブロッキングした。



IL-3R $\beta$  ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。